

128 昭和時代 日本国憲法

五大改革ふきあげろ！

5つ労働組合の結成奨励

1945 労働組合法(労働組合の復活)

右派の 総同盟

左派の 産別会議 (日本共産党の影響)

1946 労働関係調整法(中央労働委員会)

1947 労働基準法(8時間労働制)

組長ドキドキ！

さらに 労働省 新設(今の厚生労働省)

戦後政党の再建

- ・日本自由党… 鳩山一郎。旧立憲政友会系
 - ・日本進歩党…旧民政党。三菱。のちの民主党。
 - ・日本社会党…戦前の無産政党がまとまる。
 - ・日本共産党…戦後に合法的な政党として再開。
- 戦後初の総選挙(大日本帝国憲法下)で自由党が第一党に。

GHQ、気に入らない鳩山を 公職追放。

→日本自由党の新しい総裁に 吉田茂。

新憲法下初の総選挙で日本社会党第1党

< 片山哲 内閣 > (日本社会党)

・日本民主党(芦田均総裁)などと連立内閣。

・1947.3 地方自治法 成立

1888年に山県有朋内務大臣がドイツ顧問 モッセ の助言を得て定めた 府県制・郡制 が地方自治法に移行しました。新憲法が地方自治を憲法で初めて保障したことへの法改正で

・1947.12 民法改正 (新民法)

・ 戸主権 が廃止された。・男女同権となった。

・戸主相続が廃止されて 均分相続 となった。

・1947.12 刑法改正

新憲法14条「法の下での平等」と矛盾する

大逆罪、不敬罪、褻瀆罪 などが廃止。

< 芦田均 内閣 > (日本民主党)

・引き続き連立内閣で不安定。

・ 昭和電工事件 で引責辞任。

冷戦激化の中でGHQは片山・芦田という、社会党が連立に入る内閣を嫌ったために仕組んだ汚職事件ともいわれます。多くが裁判で無罪となりました。

→保守派の吉田茂が再び組閣。



< 第一次吉田茂 内閣 > (日本自由党)

憲法問題調査委員会 (幣原内閣)

・委員長 松本烝治 国務大臣

松本案

・天皇の統治権を認める不十分な内容。

・1946.2 極東委員会 が活動開始。
極東委員会にはGHQより上で、委員にはソ連代表もいます。

・1946.2 マッカーサー、急きよ政府に

・ マッカーサー草案 を提示。

民間の高野岩三郎らを中心とする 憲法研究会 の「憲法草案要綱」を参照してマッカーサー草案にしました。

この帝国議会に女性議員はいた→ (○ ×)

・ **第90回帝国議会** で憲法改正草案を審議

・1946. **11.3** 衆議院と 貴族院 可決
参議院はまだありません。
↓公布期間半年を経て施行

・1947. **5.3** 日本国憲法施行

・総選挙で社会党が第1党となり総辞職。

1936年の天皇機関説事件で弾圧された美濃部達吉は戦後、天皇機関説が復活すれば憲法改正の必要はないと、日本国憲法に反対した。

